

第 98 回日本消化器内視鏡学会関東地方会

会期：2014年6月14日(土)、15日(日)

会長：井上 晴洋 先生(昭和大学江東豊洲病院 消化器センター)

ハンズオントレーニングセッション 募集要項

募集期間：2014年4月7日(月)正午～5月20日(火)正午

※各コースともに定員に空きがございますので、締切期日を

5月30日(金)

まで延長して受付を行います

1. 実施概要

- ▶ 主に初心者、初級者を受講対象とした実技トレーニングセッションです。
- ▶ 総合司会が受講者に講義をした後、受講者1名にインストラクター1名がマンツーマンで指導を行います。
- ▶ 終了後に、修了証をお渡しいたします。

◆Bコース「大腸内視鏡挿入法の実技指導(入門～応用編)」

実施日時：6月15日(日)9:00～12:00(予定)

総合司会：藤井 隆広(藤井隆広クリニック)

インストラクター

浦岡 俊夫(国立病院機構東京医療センター 消化器内科)

大野 康寛(国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科)

坂本 琢(国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

横山 知子(富士フィルム健康管理センター 消化器内科)

【総合司会のことば】

技術は実技を見て学ぶものであり、大腸内視鏡挿入法についても、様々な論文から学ぶよりも、実際の挿入技術を見て、直接に指導を受ける方がはるかに合理的であります。大腸内視鏡挿入の技術は、大腸をいかに伸ばさずに軸保持短縮法で挿入できるかが基本であります(入門編)。また、ループ形成で挿入せざるをえない過腸なS状結腸や横行結腸のパターンについても、ループ形成となる見極め方やループ解除の方法、さらには体位変換や腹壁圧迫の活用法について、実技による指導を考えております(応用編)。今回の受講対象者は、初心者から中級者に枠を広げ、挿入法の基本から応用までを colon model を使って、各講師とのマンツーマン指導のもと、盲腸までの挿入法を体験していただきたいと考えています。日頃、大腸内視鏡挿入法で悩まれている方の参加をお待ちしております。





